

(第76回慶應EU研究会)  
田中素香先生 記念講演会

2014年12月6日慶應義塾大学

「田中素香先生のEU研究の到達点」

立命館大学 星野 郁

# 概 要

1. 田中先生のプロフィール
2. 田中先生のご研究の軌跡
3. 田中先生のEU研究の到達点
4. EUの現状と今後の研究課題

# 1. 田中先生のプロフィール

- 1944年福岡県(玄海町)にお生まれ
- 1963年3月修猷館高校ご卒業
- 1967年3月九州大学工学部電子工学科ご卒業(経済学部学士ご入学(木下悦二ゼミ所属))
- 1969年3月九州大学経済学部ご卒業&大学院経済学研究科ご進学
- 1971年3月九州大学大学院経済学研究科修士課程ご修了(経済学修士)
- 1971年4月~74年3月九州大学経済学部助手
- 1974年4月~82年9月下関市立大学経済学部講師・助教授(国際経済論ご担当) ドイツご留学(ケルン大学経済政策研究所、Hasse教授)
- 1982年10月~98年3月東北大学経済学部助教授・教授(経済政策学ご担当) イタリアご留学(ヨーロッパ大学院(フィレンツェ))
- 1999年4月~2004年3月東北大学大学院経済学研究科教授(国際金融論ご担当) 一橋大学大学院経済研究所教授併任(ヨーロッパ経済論ご担当)
- 2004年4月~現在 中央大学経済学部&経済学研究科(国際金融論ご担当)
  
- 経済学博士(九州大学、『欧州統合ーEC発展の新段階ー』(有斐閣、1982年))
- 非常勤講師及び客員教授(東大、京大、一橋、北大等々)
- 国際経済学会会長、日本学術会議委員ほか。

## 2. 田中先生のご研究の軌跡

- \* 大学・学部: 木下ゼミで世界経済論
- \* 修士論文: 「帝国主義論の分析」
- \* EU(EC)研究へ
- \* 1982年『欧州統合論』有斐閣叢書(CAP,通貨統合、財政・制度統合)
- \* 1992年『EC統合の新展開と欧州再編成』東洋経済新報社(市場統合の発展過程及び産業再編の分析)
- \* 1992年『ポスト冷戦の世界経済』文真堂(木下先生との編著、ゼミ一門による執筆)
- \* 1996年『EMS: 欧州通貨制度－欧州通貨統合の焦点－』有斐閣、(岩田氏との共著)
- \* 2002年『ユーロ その衝撃と行方』岩波新書、2010年『ユーロ 危機の中の統一通貨』岩波新書
- \* 2007年『拡大するユーロ経済圏－その強さとひずみを検証する－』日本経済新聞社
- \* 2004年J.ペルクマンズ『欧州統合 深化と拡大の総合分析』文真堂
- \* 2011年P.デグラウベ『通貨同盟の政治経済学』勁草書房
- \* その他編著、論文多数

### 3. 田中先生のEU研究の到達点

- \* 脱国民経済化であると同時にヨーロッパレベルでの国民経済形成の試みとしてヨーロッパ統合を見る(木下悦二ヨーロッパ統合論を継承し発展させた)
- \* EU=大陸型国民経済(vs.アメリカ、中国など)
- \* 20世紀後半のEU統合の発展、市場統合→通貨統合包括的な視点から統合のダイナミズムを捉えることにご成功。
- \* 新機能主義論、理性の狡知(ヘーゲリアン?)
- \* 世界経済論、現代資本主義論的視角、スケールの大きさ(木下理論、マルクス経済学的分析視角の継承)
- \* EMSやマルクの国際通貨化の分析、ECBの金融政策の分析(国際通貨・金融論、中央銀行論における新たな開拓)
- \* 飽くなき好奇心、海外調査旅行や勉強合宿でのタフネス
- \* お弟子さんに対する厳しさと○○○

## 4. EUの現状と今後の研究課題

- \* 統合史上最大の危機に直面するEUおよびヨーロッパ
- \* 複合危機としてのユーロ危機(金融、財政、銀行、経済危機+政治・社会危機+統合の危機(反EU,排外主義、ポピュリストの台頭、左派の退潮!?) ヨーロッパ資本主義ないしヨーロッパ社会の危機
- \* German Problem again(独仏枢軸の後退、ドイツ支配)
- \* ロシアの復活!?! 新冷戦の時代へ?
- \* 危機こそがヨーロッパ統合を深化させる(モネ命題)  
More Europe?
- \* 山積する研究課題(銀行同盟、ECBの金融政策分析、産業・労働市場分析等々)
- \* ヨーロッパ経済・EU研究者育成問題

ご清聴ありがとうございました

\*田中先生のご健康と今後の更なる研究のご発展を心よりお祈りしております！